

沖縄県アジア経済戦略構想推進計画

平成 28 年 3 月

沖 縄 県



沖縄を日本とアジアの架け橋に

～ 日本とアジアを結ぶ国際ビジネス都市へ ～

成長著しいアジア経済のダイナミズムが沖縄に近づいています。

街を歩く外国人観光客の姿が日常のものとなり、沖縄とアジア各国を行き交う航空貨物量が増大するなど、成長するアジア経済の姿を沖縄で感じる機会も多くなりました。

沖縄県は、アジアの巨大なマーケットの中心に位置する沖縄の地理的優位性を生かし、アジア経済と連動することで、アジアの活力を取り込み沖縄県の自立型経済を発展させていきたいと考えております。このため、県内外の有識者で構成する委員会を設置して議論を重ね、平成 27 年 9 月に今後の沖縄とアジア地域の経済交流、産業振興に向けた指針となる「沖縄県アジア経済戦略構想」を策定しました。

沖縄県は現在、県民と共に策定した総合的な基本計画である「沖縄21世紀ビジョン基本計画」に基づき、各種施策を実施しております。一方、急激に拡大するアジア経済のダイナミズムは、外国人観光客の急増など、従来の施策の枠組みを超える対応が求められる事態を現せつつあります。

「沖縄県アジア経済戦略構想」は、「沖縄21世紀ビジョン基本計画」等を補完・補強するものであり、今後の沖縄経済を牽引する基軸となる「5つの重点戦略」、アジア市場を取り込むことで新たな成長を推進する「4つの産業成長戦略」、これら諸施策の実現に向けた「5つの推進機能」をその柱としております。また、それぞれの戦略毎にアジア経済の成長に伴い対応すべき施策展開が盛り込まれており、今後は、その実現に向けて取り組むことが重要であると考えております。

「沖縄県アジア経済戦略構想推進計画」は、戦略構想の実現に向けて、具体的な個別事業やプロジェクト、スケジュール、実施主体等を盛り込んだ実施計画です。戦略構想関連の取組をスピード感とスケール感をもって推進する基本施策を体系的に整理しており、沖縄の持つ地域力、文化力、人間力、自然力等のソフトパワーを活かし、観光リゾート産業、情報通信関連産業などのリーディング産業の拡充・強化や、国際物流拠点の形成を進めることとしております。

さらに、今後の成長が見込まれる航空関連産業やものづくり産業、医療・バイオ産業や農林水産業などに加え、沖縄の持つ独自の技術を生かした環境ビジネス・再生可能エネルギーなどの産業も含め、アジア諸国と本県の相互の発展を目指すものとしており、沖縄県としては、これらの取組を推進することで、沖縄を日本とアジアを結ぶ国際ビジネス都市として発展させたいと考えております。

計画の推進にあたっては、国、市町村、関係事業者など、各方面との連携の下、取組を推進することが不可欠であると考えております。県民を含め、関係者の皆様におかれましては、沖縄県の自立型経済の発展並びに日本とアジアの架け橋となる沖縄の実現のため、御理解と御協力を頂きますようお願い申し上げます。

平成 28 年 3 月

沖縄県知事 翁長 雄志

沖縄県アジア経済戦略構想推進計画

目次

第1章	はじめに	1
1	策定の趣旨	1
2	計画の性格と役割	2
3	計画の期間	3
4	計画の構成	3
5	計画の推進	5
第2章	推進計画の方向性	6
1	国・地域の市場特性等に対応した施策展開	6
2	戦略的な産業インフラの整備	6
3	民間企業の積極的事業展開の促進	7
4	推進体制の強化	7
第3章	戦略及びプロジェクト	8
第4章	目標とする姿	11
第5章	重点戦略等に係る取組	12
1	重点戦略、産業成長戦略及び推進機能の概略	12
2	重点戦略に係る取組	18
I	アジアをつなぐ、国際競争力のある物流拠点の形成	18
II	世界水準の観光リゾート地の実現	25
III	航空関連産業クラスターの形成	33
IV	アジア有数の国際情報通信拠点“スマートハブ”の形成	36
V	沖縄からアジアへとつながる新たなものづくり産業の推進	40
3	産業成長戦略に係る取組	44
ア	農林水畜産業	44
イ	先端医療・健康・バイオ産業	49
ウ	環境・エネルギー産業	54
エ	地場産業・地域基盤産業	57
4	推進機能に係る取組	63
A	アジアにおけるビジネス・ネットワーク拠点「プラットフォーム沖縄」の構築	63
B	ビジネス・コンシェルジュ沖縄の構築	66
C	アジアを見据えたグローバル人材育成の推進	68
D	アジアのダイナミズムを取り込むための規制緩和、制度改革	72
E	アジアのシームレスな海、空、陸の交通体系への連携	74

